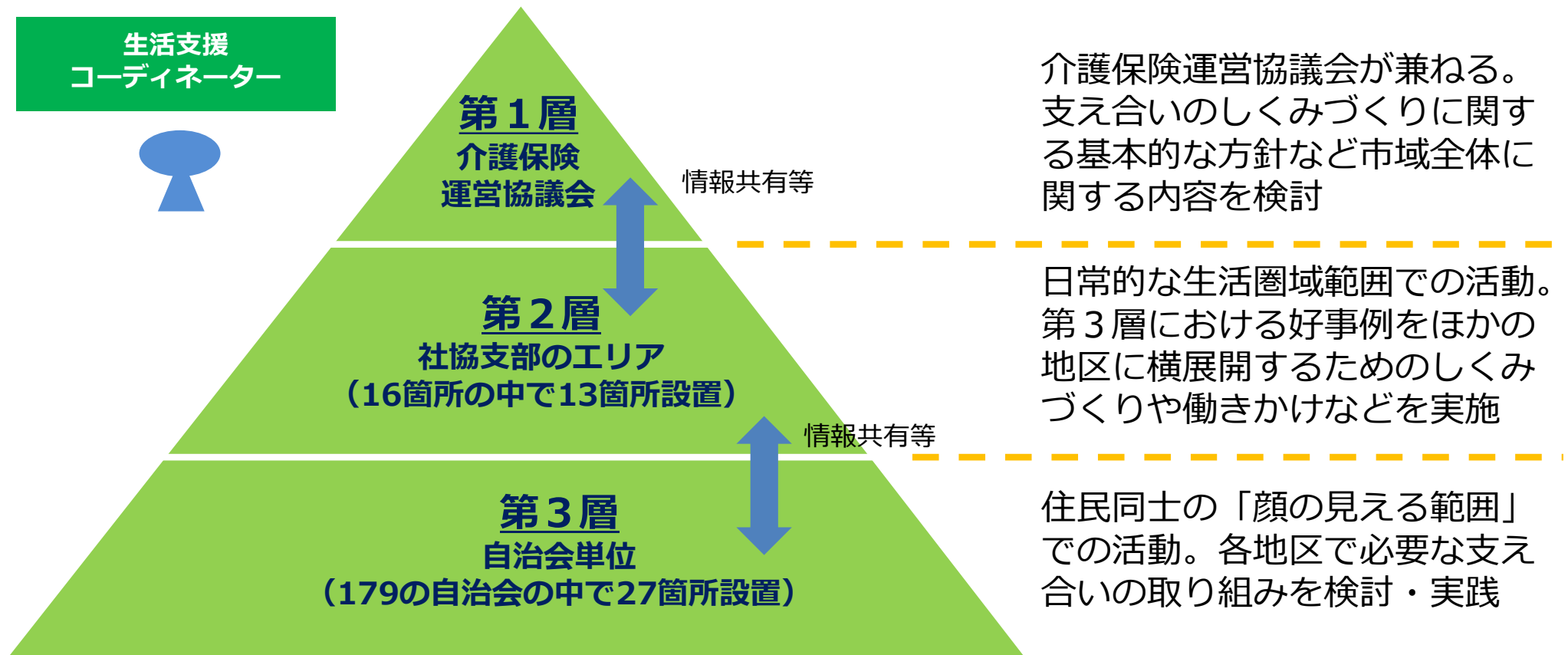


**地域で高齢者を支え合う
しくみづくりについて**

1 ブロンズ会議の取組の概要

「ブロンズ会議」「生活支援コーディネーター」の設置（配置）イメージ

- 地域の関係団体等による情報共有・連携強化の場となる「**ブロンズ会議**」を設置
- 「ブロンズ会議」は、市全域を範囲とする「**第1層**」、日常的な生活圏域（社会福祉協議会支部のエリア）を単位とする「**第2層**」、さらに、自治会単位の「**第3層**」の3層構造を想定
- 「第1層」と「第2層」のブロンズ会議に、それぞれ団体間などの連絡調整などを行う「**生活支援コーディネーター**」を配置



ブロンズ会議の活動の推進

【目 標】

目標指標：第2層ブロンズ会議が主体の介護予防や生活支援の具体的な取り組みが行われている地域の数（箇所）

目標数値：令和3年度は5箇所による取り組みを目指します。

指標	第2層ブロンズ会議が主体の介護予防や生活支援の具体的な取り組みが行われている地域の数（箇所）			
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目 標	3	5	8	16
実 績	3			

※第4次加須市高齢者支援計画より

【目標達成に向けた取組】

各地域ブロンズ会議において地域課題の把握に努め、介護予防及び生活支援の取り組みを協議し、実施しています。

2 ブロンズ会議の主な活動事例

ブロンズ会議の主な活動事例

加須地域

新型コロナウイルスワクチン接種の予約支援を実施

●実施主体

- ①大桑地区ブロンズ会議
- ②水深「絆の会」(水深地区)
- ③地域あんしん・ささえの会(志多見地区)
- ④おおごえ渡し舟の会(大越地区)

●実施内容

- ①スマホ等による予約のサポート
- ②タブレットによる代理予約

北川辺地域

高齢者の集まる機会を創出する「交流の場」を開催

●実施主体

北川辺みずわの会

●実施内容

- ①屋外でラジオ体操
- ②転倒無止体操
- ③脳トレゲーム 等
(実施時間は30分程度)

騎西地域

新型コロナウイルスワクチン接種の予約支援を実施

●実施主体

きさい大いちょうの会(騎西地区)

●実施内容

スマホによる予約のサポート及び代理予約

大利根地域

認知症の方とその家族を支える仕組みづくりの実施

●実施主体

新川通上・新川通下・外記新田ブロンズ会議

●実施内容

認知症に関する勉強会

「地域の現状について」の勉強と、「地域のこれから」についての話し合い

加須地域

加須地域の第2層ブロンズ会議が高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の予約を支援。各地区とも、スマホ等による予約のサポートやタブレットによる代理予約を実施

【大桑地区】

- 日時 令和3年7月26日(月)、28日(水)、30日(金)
午前9時00分から正午
- 場所 大桑公民館、川口コミュニティセンター、花崎コミュニティセンター

【水深地区（水深「絆の会」）】

- 日時 令和3年6月23日(水)、26日(土)、30日(水)
午前10時00分～正午、午後1時00分～午後3時00分
- 場所 水深公民館

【志多見地区（地域あんしん・ささえの会）】

- 日時 令和3年7月10日(土)、14日(水)、17日(土)
午前10時00分～正午
- 場所 志多見公民館

【大越公民館（おおごえ渡し舟の会）】

- 日時 令和3年7月19日(月)、20日(火)、21日(水)
午前10時00分～正午
- 場所 中内集会所、2区会館、新田集会所



▲水深「絆の会」の予約支援の様子

騎西地区の第2層ブロンズ会議（きさい大いちょうの会）が高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の予約支援を実施

- 日時 令和3年7月1日(木)から
- 対象 新型コロナウイルスワクチン接種を希望しているが、予約が困難な高齢者（65歳以上）で騎西地区に居住している方
- 手順
 - ①7月1日(木)、騎西地区の全戸にチラシを配布
 - ②希望者は「きさい大いちょうの会」事務局の騎西高齢者相談センター多賀谷寿光園に電話連絡
 - ③事務局は「きさい大いちょうの会」の協力者に連絡
 - ④協力者が希望者宅を訪問して、希望者のスマホを使って入力のお手伝い、または、協力者のスマホを使ってワクチン接種予約を支援



6月23日(水)会議の様子



「きさい大いちょうの会」の接種
予約協力者

北川辺地域

北川辺地域の第2層ブロンズ会議（北川辺みずわの会）が、コロナ禍でも工夫して高齢者が集まることができる機会（閉じこもり予防）として「交流の場」を開催

- 日時 令和3年5月11日(火)、14日(金)、21日(金)(※)、25日(火)、27日(木)(※)
※雨天中止
- 場所 ライスパーク芝生広場、陽光台中央公園、中柏戸集会所敷地
- 内容 屋外で適切な距離をとり、ラジオ体操、加須転倒無止体操、脳トレゲームなど（実施時間30分程度）
- 結果
 - ①「お誘いカード（用紙）」を使用して地域の方に声かけしたことにより、多くの参加があった。「引き続き実施してほしい」など、定期開催を望む声が多数寄せられた。
 - ②感染症対策のために、会場ではマイクを使用したほか、受付が密にならないよう、あらかじめ用紙に氏名等を記入して持参してもらうなど、工夫を凝らした。
 - ③「北川辺みずわの会」運営委員一人ひとりが役割を持ち、楽しく活動できた。
- 今後の予定
 - ①11月及び翌2月頃に予定
 - ②「北川辺みずわの会」の活動を通して、自治会単位など住民同士の顔の見える範囲での支え合いの仕組みづくり(第3層ブロンズ会議の設立支援、拡充)を進めていく。



中柏戸集会所敷地内

85歳以上の4人に1人が認知症になるといわれる時代。ある世帯の地域ケア会議をきっかけに、地域で認知症の方とその家族を支える仕組みづくりを実施。

【令和3年度第1回ブロンズ会議（新川通上・新川通下合同）】

認知症の基本について学ぼう（認知症サポーター養成講座）

●日 時：令和3年4月24日(土) 午前10時30分～午後0時15分

●場 所：新川通集会所

●参加者：22名（自治会役員、民生委員、防犯隊役員、寺役員、老人クラブ役員、サロン役員、女性会役員、カラオケ役員、新生会（若者の会）役員）



消毒や体温測定など、感染症対策を徹底

●内 容：「認知症とは」「中核症状と周辺症状」「診断・治療」「接するときの心構え」「家族介護者の気持ち」など

●感 想：①地域で支え合う第一歩につなげたいと思う。
②認知症に関する理解が広がることを期待したい。

【今後の予定】

6月9日に第2回ブロンズ会議を開催。「地域の現状」について学び、「地域のこれから」について話し合った。そのなかで、民生委員・児童委員のエリアに合わせ、3自治会合同でブロンズ会議を開催していくことを確認。

7月27日には3地区合同の「キックオフ会議」の開催を予定している。

